



平成 25 年 11 月 1 日

各 位

上場会社名 株式会社 サンユウ
 代表者 代表取締役社長 上野 隆
 (コード番号 5697 東証二部)
 問合せ先責任者 取締役財務部長 西村 圭二
 (TEL 072-858-1251)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び
 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 8 月 2 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の業績予想と実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、未定としておりました平成 26 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおりいたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想値と実績値との差異

連結業績予想値と実績値との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,400	△15	△20	△40	△6.69
実績値 (B)	7,397	△6	△7	△33	△5.54
増減額 (B-A)	△2	8	12	6	—
増減率 (%)	△0.0	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	7,214	△68	△59	△96	△16.07

個別業績予想値と実績値との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,400	30	20	10	1.67
実績値 (B)	6,478	35	35	18	3.00
増減額 (B-A)	78	5	15	8	—
増減率 (%)	1.2	17.7	75.6	81.1	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	6,474	71	66	42	6.95

2. 平成 26 年 3 月期の通期業績予想の修正について

通期連結業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	15,000	110	110	40	6.69
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 3 月期）	14,401	83	87	11	1.96

通期個別業績予想数値の修正（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	—	—	—	—	—
今回修正予想（B）	13,000	100	90	50	8.27
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 25 年 3 月期）	12,859	304	292	236	39.13

3. 修正の理由

(1) 第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

当第 2 四半期累計期間の当社グループの主要需要家である自動車・建設機械・産業機械の各業界における生産活動は円安基調のなか輸出の増加及び国内景気のゆるやかな回復等を背景に順調に推移いたしました。

この環境下、個別の業績につきましては、自動車を中心とした紐付き取引向け製品の販売数量増により、売上高は前回予想を78百万円上回り、利益指標も売上総利益が上昇し前回予想を上回りました。

連結の業績につきましては、売上高は連結子会社が下振れしたため概ね前回予想通りとなりました。なお、利益指標については、主に個別の増益により前回予想を上回りました。

(2) 通期業績予想の修正

通期につきましては、鉄鋼メーカーからの材料価格及び当社の販売価格水準を予想することが困難な状況にあったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて公表いたします。

下期の経営環境は引き続き堅調に推移するものと予想されます。

この環境下、当社グループは、製品価格の値上げに注力するとともにきめ細かな営業活動により販売数量の拡大に努めてまいります。

個別業績予想につきましては、前年下期は自動車業界の生産調整がありました。今期は順調に推移することが期待されることから、売上高は前年比微増となる見込みであります。利益指標については、エネルギー価格の上昇により生産コストが増大すること及び運送費等の販売管理費が上昇すること等から前年比減益となる見込みであります。

連結業績予想につきましては、株式会社サンユウ九州の増収及び収益改善を織り込み、売上高及び利益指標とも前年を上回る見込みであります。

(注) 本資料に掲載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以上